

“裁判員制度はいらない！千葉集会”開催決定！

「戦争・改憲・人権侵害の裁判員制度にNO！」を千葉からも訴えるべく、標記の集会を開催することになりました。1月15日（木）初回の実行委員会が6団体12名の参加で行われ、集会日時を3月22日（日）13時半より、場所は県庁近くのホテルプラザ菜の花とすることが決まりました。集会後はデモ行進で、市民へのアピールも行います（詳細は同封のチラシ参照）。集会成功のために、皆様へ3つのお願いです。ぜひご協力いただき、力を合わせて裁判員制度を廃止に追い込みましょう！

①集会への賛同をお願いします！

チラシにある賛同用紙に記入し、郵送またはFAXでご返信ください。

郵送先は、上記DC会館（県連絡会）まで。

②集会チケットの販売にご協力ください！

必要枚数のご連絡も、電話 or FAXで

③チラシを増し刷りして広げてください！（特に団体の皆様には、各会員様への配布をお願いします）

ガザ・揺らぐ「停戦」…イスラエル国内からも反戦の声

イスラエルによる無差別・大量虐殺のガザ侵略が仮にも「停戦」となったのも束の間、1月27日にはイスラエル軍が再度ガザ攻撃を行う有様です。この侵略が始まって以降、当事国イスラエルでもユダヤ人とアラブ人が手を組んで10万人以上の反戦デモが闘われ、軍の出動命令を拒否した兵士が軍法会議にかけられています。また、イスラエルの背後にいるアメリカをはじめ、世界各地で大規模なデモが展開されました。「イスラエルはパレスチナから手を引け！」の声を上げ続けていきましょう。

9条を変えるな！百万署名 1/25現在

県到達数 17,653筆（+491） カンパ 66,000円

◆裁判員：490筆 ◆君が代解雇阻止：182筆 ◆「もんじゅ」反対：46筆

◆児ポ法改悪反対：13筆 ◆辺野古新基地阻止：76筆 ◆星野さん再審釈放：47筆

①街宣署名（12/28～1/25）

日時	場所	人数	9条署名	裁判員署名	解雇阻止署名	ビラ
計	6回	18名	490筆	7筆	17筆	810枚

②個人・団体より

●9条署名：1名の方より、1筆 ●裁判員署名：1名の方より、23筆

●君が代解雇阻止署名：2名の方より、47筆/M教会より、50筆

【事務局より】12月21日以降、街宣では5回連続で9条署名3ケタ達成！！「街宣をすれば、いつでも100筆以上」をめざしたいと思います。お1人でも多くの街宣ご参加をお願いします。また、卒・入学式を控え、根津さん・河原井さんの「君が代解雇」をさせない署名も重要です。さらなるご協力を！

《紀行》「無言館」新館を訪ねて



1月4日（日）、戦没画学生慰霊美術館「無言館」（長野県上田市）に行ってきました。館主の窪島誠一郎さんが、全国の戦没画学生遺族を探し回って集めてきた作品を展示するこの美術館が開館して早や1年半。その後も遺族からの申し出などで収蔵作品が増え、それを展示する新館「傷ついた画布のドーム」が昨年開館。私は過去に2度訪問していますが、新館を観覧するのは初めてになります。

コンクリート打ちっばなしの、ヨーロッパの教会や僧院

を思わせる建物は既存館と共通のコンセプトで、さらには信州の凍てつく寒さながら、暖房がありません。これにはさすがに参りましたが、緊張感を持って絵に接するには最適な環境なのかとも思いました。展示作品も既存館同様、自画像や風景などを描いたもので、作品にまつわるエピソードや、遺された者の思いも添えられています。私は美術の方面には疎いので、個々の作品の芸術的価値などの評価は下しようもありません。しかし、絵を描く者として生きた「あかし」を残したい、表現することの喜びを描きとめておきたい、との思いがどの作品からもほとぼしり、観る者の心を打ちます。彼らは直接的に「反戦」の意図を込めて描いたわけではないでしょうが、生きて帰ったら必ず続きを描くと心に決め、その「あかし」をキャンバスに残すという所作自体が、戦争への「抵抗」を示しているように、私には感じられました。

そして、新館の建物の外に目を転じると、「非戦の庭」と名づけられた前庭が広がります。「パレスチナから運ばれたオリーブの苗100本」と、「沖縄・摩文仁の丘より採掘された約200トンの石」で構成され、ここにも窪島さんの意思が表現されています。訪問時点ではイスラエルによるパレスチナ・ガザへの非道な侵略攻撃が進行中とあって、絵筆を侵略の銃に持ち替えさせられた戦没画学生の無念の思いと共にして、ガザ侵略をとめようとの思いを新たにさせられました。(R)

2月の予定

(省略)